



## 2月 行事予定

- 1日(水) 山陽小一日入学(そら組)
- 3日(金) 誕生会
- 9日(木) 山陽北小一日入学(そら組)
- 11日(木・祝日) 建国記念の日
- 15日(水) おはなし会
- 16日(木) 避難訓練
- 23日(木・祝日) 天皇誕生日
- 27日(月) 新入園児説明会日
- 28日(火) 1月利用料等引落日

※コロナウイルス感染症の拡大により、  
行事が中止になる場合もあります。ご了承ください。



## 3月 行事予定

- 3日(金) 誕生会
- 7日(火) 卒園旅行(そら組)
- 10日(金) 健脚活動⑤
- 13日(月) 避難訓練
- 16日(木) 卒園式
- 21日(火・祝日) 春分の日
- 29日(水)~31日(金) 自由登園
- 31日(金) 2月利用料等引落日

## 1月の行事報告『とんど焼き』

1月の誕生会では、こどもたちの無病息災を願ってとんど焼きをしました。大きいクラスは書初めをして、お飾りと一緒に囃しました。習字が上達しますように…。ししまいに頭を噛まれることで、悪いものを取り払ってもらうことができました。



## さくらんぼ保育園を ちのちもいてみよ〜う

### 『手づくり玩具』

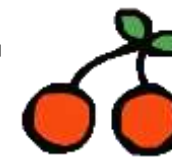
保育園には購入した既製の玩具の他に、手づくりで職員が作っているものがあります。

こどもたちの今興味があることに合わせたり、こういう力を伸ばしたいという想いを込めたりできるのがメリットです。

職員にも得意不得意がありますが、想いをこめて丁寧につくっていることに違いはありません。少し壊れやすかったり、数が少なかったりしますがあたたかみがあるものになっています。



# さくらんぼ通信



令和5年2月1日(水)発行  
さくらんぼ保育園 園だより  
桜が丘東2-2-809  
Tel 995-9071  
Fax 995-9072



さくらんぼ保育園 園だより No.265

### 『強みに目を向けて』

ストレンクスという言葉聞いたことはありますか？私は最近“その人のもつ強み(ストレンクス)に注目しよう”という研修に参加しました。人はネガティブな面に目を向けやすく、例えば“すぐに飽きてしまう”“一人あそびが多いな”とマイナスなことに着目してしまっています。しかし、言い換えれば“すぐに飽きる”ということは“いろいろなことに興味がある”と捉えることができ、“一人あそびをする”ということは“自分の好きなことに集中できる”などと考えることができます。研修の中で、たくさん挙がっていたマイナスな言葉をストレンクスに言い換えていくことで、重たい空気がずっと軽くなったような気がしました。

大人もこどもも、その人らしく、他の人とは異なるものをたくさん持っています。今までマイナスに捉えていたことも、新しくその子の強みとして捉えなおすことで見方を変えることができ、気持ちが楽になったり、新しいアイデアが浮かんだりすることもあります。こどものストレンクスを探しながら保育をしていきたいです。

森川麻美

## つばやき・エピソード つき組



書初めをした時のこと。  
Aさん：「なにこれ？絵の具？」  
Bさん：「これ、習字って言うんよ。  
お兄ちゃんが使ってたよ」  
  
よく見て、聞いているこどもたちですね。

# 土らぐみ



砂場に大きな穴を掘ろうとみんなで協力していました。「バケツを使ったらいい穴ができるんじゃない？」という一人の発言からバケツを山に差し込んでみることに。そのバケツを見たある子が「洗濯機みたい」と。「ほんとだ、じゃあ帽子を洗おう」「こぼれないように蓋をしよう」とバケツに帽子を入れ、ふるいを被せて…どんどんあそびが広がっていきました。本来のバケツの使い方とは違いますが、あそびの中でやりたいことをみんなで見つけ、発想力や想像力を発揮し、夢中になってあそびを展開していく姿が微笑ましく感じました。

# はなぐみ



周りの友だちのしていることに興味を持ち始めています。はな組には少し難しい玩具でも、ゆき組の友だちが遊んでいる姿を見て“やってみたい”と手を伸ばします。周りの友だちに刺激を受け、興味や意欲が広がっています。

## 保育目標

- 一人ひとりのこどもを見つめ、集団生活を通して
  - 友だちを大切にし、共に育ち合う子
  - 生き生きとした元気な子
  - 自分で考え行動する子
- を育てる

こどもが主体となって活動する中で、こどもは友だちが自分とは異なった考え方をしていることに気づいたり、直接的な体験から多くのことを学んだりします。集団ならではの気づきですね。

# ゆきぐみ



こまの製作をしようと紙皿をこどもたちに渡すと紙皿が車のハンドルに変身！友だちの姿を見て、どんどんひな壇の上に集まり、バスごっこが始まりました。こどもたちの発想が他の子にも伝わり広がっていった瞬間でした。

# ほしぐみ



お正月あそびの一つとしてこま回しを楽しんでいます。最初はどれくらい長く回せているかの競い合いでしたが、こどもたち同士で“どうすれば長く回せるか”の研究が始まりました。高さや回す向きなど、こどもたち自身でより楽しめるよう考えていました。

## 今月のテーマ

### こどもが主体的に

# ゆきぐみ



廃材を使って自分の好きなものを作りました。何にしようか考えながら作ったり、友だちがしている姿を見て同じように作ったりなど、自分で考え製作をしました。友だちの作品を見て褒め合うなど、自分と違うものを認め合う姿もありました。

# にしぐみ



素材あそびとして、ダンボールあそびを楽しんでいます。ダンボール一つでいろいろなあそびが生まれます。かくれんぼをしたり、電車に変身したり。保育者の投げかけるあそび以外にも、こどもたち自身がどう遊ぶかを考えながら、友だちとあそびを共有することができるようになっています。